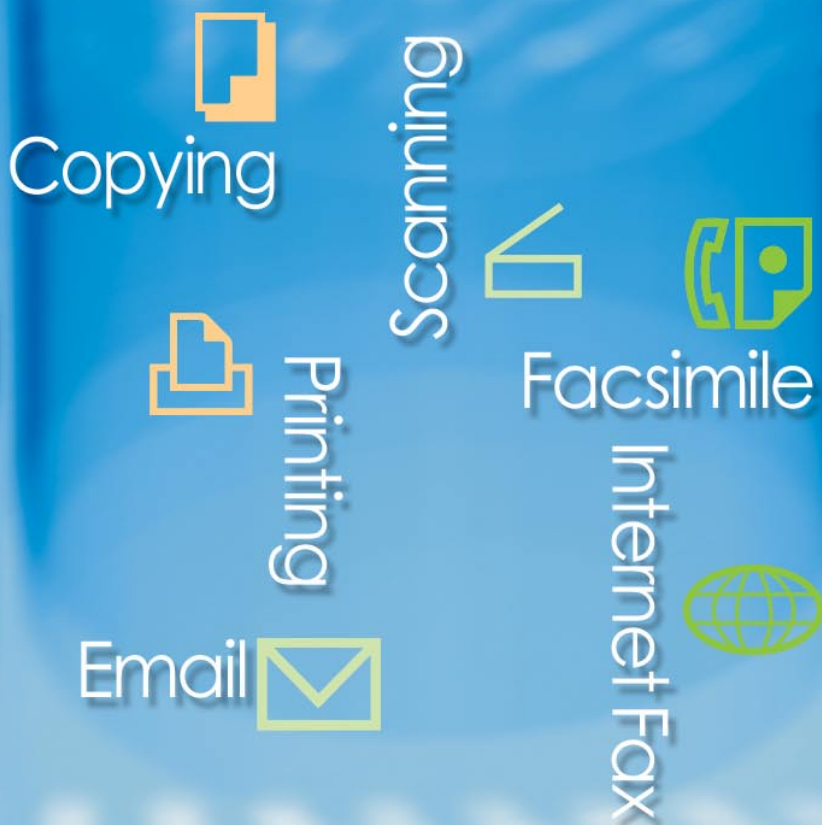
Panasonic®

取扱説明書

（ユーザー認証編）

フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C2635 / C2635F / C2635FS
DP-C2626 / C2626F / C2121F

Copying
Scanning
Facsimile
Printing
Internet Fax
Email

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

●イラストはオプションを装着した例です。詳しくは、『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

上手に使って上手に節電

Microsoft 、MS-DOS、Windows 、Windows NT、Windows Server、PowerPoint、Outlook は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Itanium、Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

USB-IF のロゴは Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc の商標です。

TrueType は、米国 Apple Computer, Inc の登録商標です。

Novell, NetWare, intraNetWare, NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PeerlessPage™ は Peerless Systems Corporation の商標です。
PeerlessPrint® と Memory Reduction Technology® は Peerless Systems Corporation の登録商標です。© 2005 PEERLESS Systems Corporation.

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。© 2005 Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社）

Universal Font Scaling Technology (UFST) および、そのすべての書体は Agfa Monotype 社よりライセンスを受けています。
ColorTune® は米国の特許商標局で登録されている Agfa-Gevaert N.V. の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。
Agfa Monotype Corporation からライセンスしている ColorTune® の技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

本機には GNU General Public License に基づきライセンスされるプログラム、GNU LesserGeneral Public License に基づきライセンスされるプログラム、およびその他のオープンソフトウェアが含まれています。その詳細、およびライセンス条件については、添付の取扱説明書 CD-ROM を参照してください。

本書の表記について

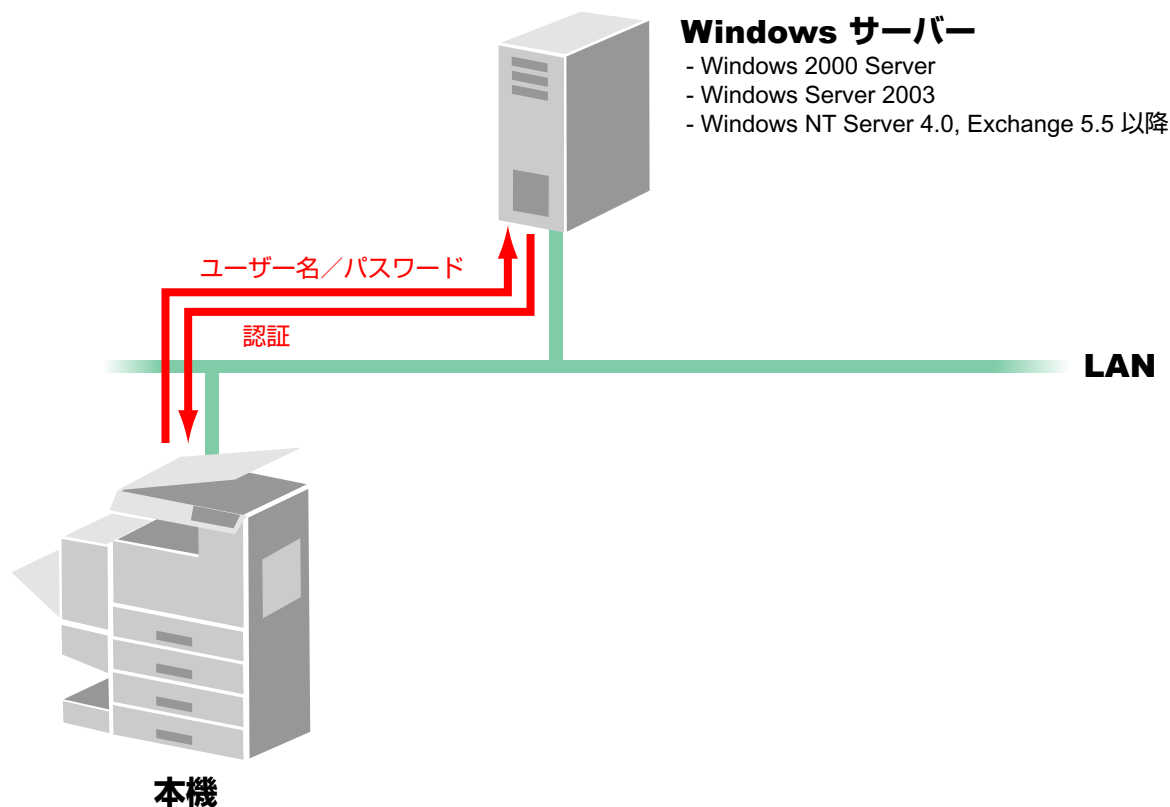
・本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー（例:スタートキー → **<スタート>**）
[　]	タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど（例：基本ボタン → [基本]）

・本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

ユーザー認証

ユーザー認証とは、本機を Windows サーバーの管理下で使用するための機能です。本機の各機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）の利用にはユーザー認証機能の設定が必要になります。認証方式は、NTLM v2 をサポートしています。

ユーザー

- 本機へのユーザーのログインは、各ユーザーの Windows アカウント（ユーザー名、パスワード）で行うことができます。

システム管理者

- システム管理者は、Windows サーバーによりユーザーのアカウントを一元管理できます。
- 本機の機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）ごとに認証を行うかどうかを設定できます。
- ジョブトラッキング機能により、装置の E メール / ファクス / インターネット FAX の通信結果を、システム管理者がメールで受け取ることができます。管理者へのメールには、本機の利用者、送信宛先、通信時刻の情報と送受信した原稿が含まれます。

お知らせ

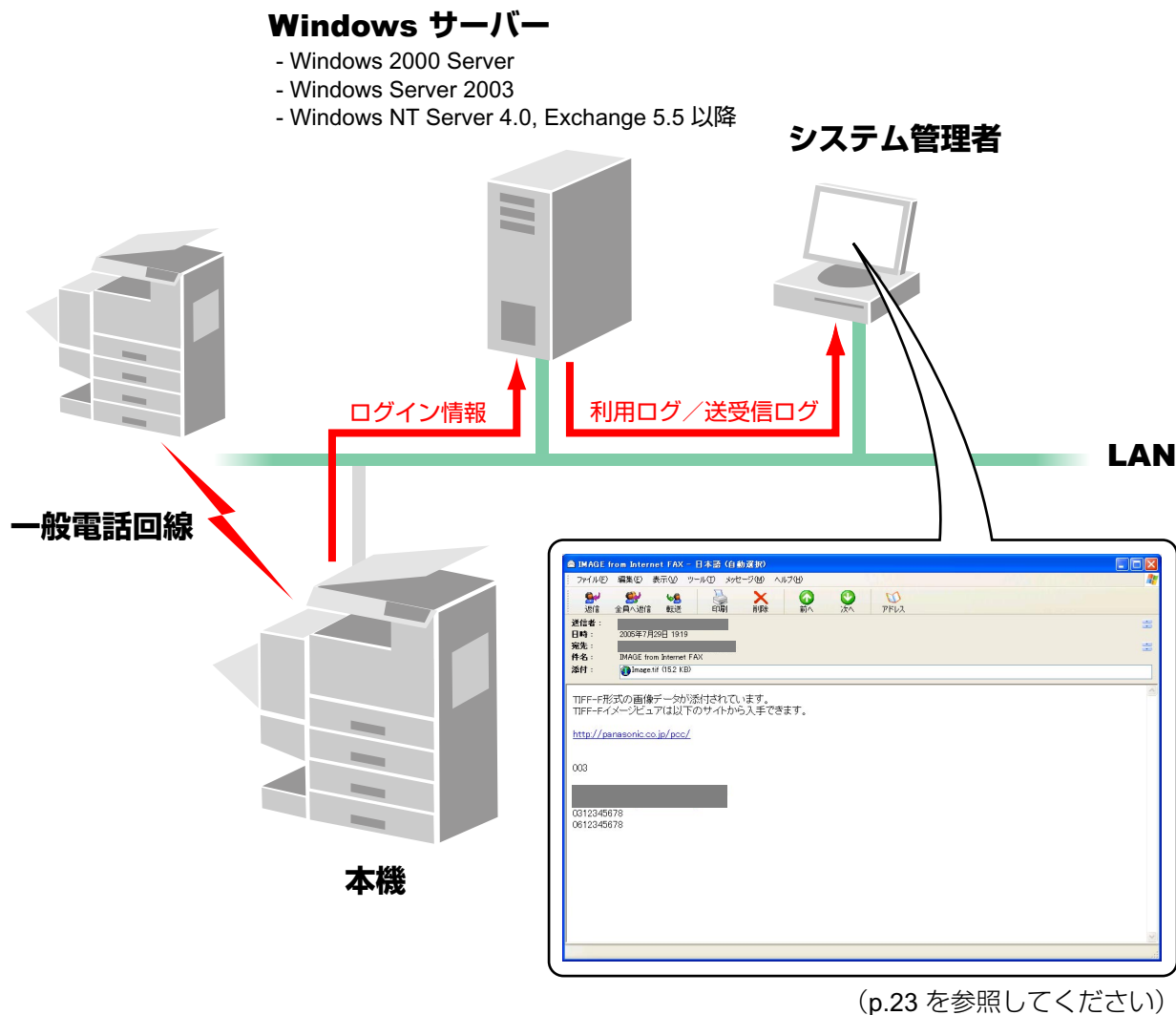
NTLM 認証とは、Windows NT ファミリーで共通して使用されるユーザー認証方式です。NTLM 認証ではチャレンジ / レスポンス方式が用いられており，認証の際にネットワーク上のパスワードが暗号化されて送られてきます。Windows 2000 では，クライアントおよびサーバーとの互換性維持のために、このプロトコルを使うことができます。

ジョブトラッキング機能

ジョブトラッキング機能を設定すると、次に記載してある通信の記録をシステム管理者にEメールにて送信します。

1. 一般電話回線を使用したファクス送受信。
2. インターネットFAXの送受信、Eメールの送信。（p.23 参照）

Windows サーバー
- Windows 2000 Server
- Windows Server 2003
- Windows NT Server 4.0, Exchange 5.5 以降

（p.23 を参照してください）

お知らせ

1. ジョブトラッキング機能を設定した場合には、次の機能は使用できなくなります。
   - オンフックダイヤル
   - メモリー転送
2. ジョブトラッキング機能をお使いの場合には、簡単モードをオフにしてお使いください。（DP-C2635FS / C2635F のみ）
   簡単モードのファクス送信は、ジョブトラッキングできません。
   簡単モード/標準モード選択画面を表示したくない場合は、ファンクション設定の［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［69 簡単モード］を［なし］に設定してください。詳しくは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「共通機能設定」を参照してください。
3. インターネットFAXユニット（DA-NF320）、または、ネットワークスキャナー / Eメールユニット（文書配信ソフト対応）（DA-NS321）が装着されている場合、ジョブトラッキング機能は使用できます。
4. ジョブトラッキング機能を有効にしても管理者にメールが送信されない場合は、LANケーブルの接続状態とネットワーク接続設定（Eメールアドレス等）を確認してください。

ログインの手順（コピー / ファクス / スキャナー / プリンターの使用）

本機を利用するユーザーの認証を行います。ユーザー認証機能が設定された本機を利用するユーザーは、ユーザー名とパスワードを入力して認証を受けなければなりません。

お知らせ

- 初めてユーザー認証機能をご使用のときは、「3章 装置の設定」（p.8 〜 19）を参照してください。
  設定項目の詳細についてはシステム管理者にご相談ください。

1 ユーザー認証機能が設定されている場合は、ログイン画面が表示される

- ユーザー認証を行うかどうかは、機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）ごとに設定できます。

2 [ユーザー ID] を選択してユーザー名（最大 40 文字）を入力し、次に [OK] を押す

- 大文字と小文字は区別されません。

3 [パスワード] を選択してパスワード（最大 40 文字）を入力し、次に [OK] を押す

- 大文字と小文字は区別されます。

4 [ドメイン] を選択してドメイン名を確認し、次に [OK] を押す

5 [OK] を押すと、認証が開始される

6 認証が完了する

- 認証完了後は、各機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）に応じた操作を行います。
- コピーなどの各機能を使用した後など、認証を解除する場合には、**<リセット>**を 2 回押してください。

お知らせ

- 認証に失敗すると、次の各メッセージが表示されます。

メッセージ	説明
認証に失敗しました	ログインに失敗しました。 ユーザー名、パスワードを確認してください。
ログイン試行回数オーバー	ログインの試行回数を超えたため、システムがロックされました。 システム管理者に連絡してください。
接続に失敗しました	認証サーバーへの接続ができません。 システム管理者に連絡してください。
プロトコルエラー	認証サーバーへの接続ができません。 システム管理者に連絡してください。
サーバーがみつかりません	認証サーバーが見つかりません。 ドメイン登録を確認してください。（p.10 参照） システムの登録から以下を確認してください。 • TCP/IP アドレス • TCP/IP サブネットマスク • TCP/IP デフォルトゲートウェイ • DNS サーバーアドレス

- 認証完了後に本機を操作せずに一定時間経過すると、認証は解除されます。認証が解除されるまでの時間は、システム管理者が設定します。「ログイン表示設定」（p.12）、「オートクリアタイム設定」（p.14）を参照してください。
- 認証を行うかどうかは、機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）ごとにシステム管理者が設定します。「認証機能設定」（p.8）を参照してください。

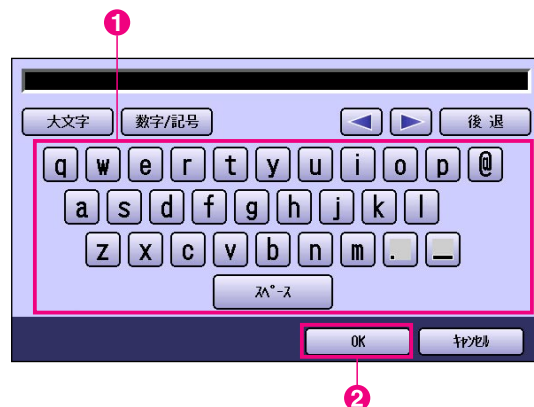
認証機能設定

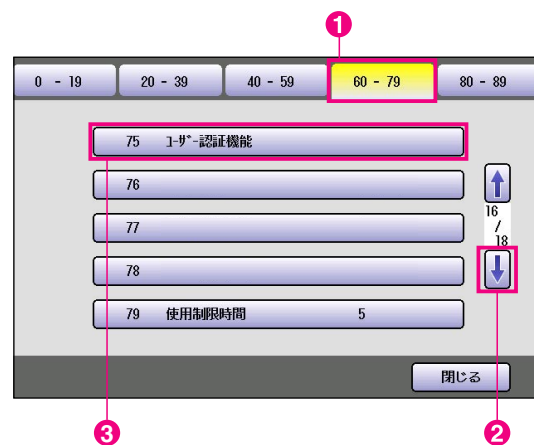
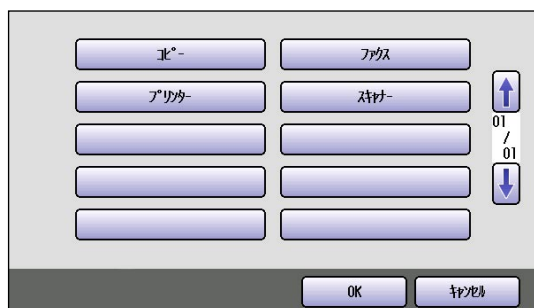
システム管理者は、ユーザーが各機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）を利用する場合に、認証を行うかどうかを設定できます。

1 **<ファンクション>を押す**

2 **[共通機能設定] を押す**

3 **[5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す**

4 **パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す**

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 **[60-79] を押し、スクロールして [75 ユーザー認証機能] を押す**

6 認証を行う機能を選択し、[OK] を押す

コピー	[コピー] を押します。
ファクス	[ファクス] を押します。
プリンター	[プリンター] を押します。
スキャナー	[スキャナー] を押します。

- ファクス機能にユーザー認証を設定した場合、FROM 選択機能は使用できません。詳細については、ファンクション設定の [ファクス / E メール機能設定] ＞ [04 キーオペレーター専用] ＞ [01 システムの登録] ＞ [145 FROM 選択機能] を参照してください。

7 認証機能を有効にするときは [あり] を、無効にするときは [なし] を選び、[OK] を押す

[あり]	認証を有効にします。
[なし]	認証を無効にします。

ユーザー認証を初めて使用するときは、ユーザー認証管理者名とユーザー認証管理者パスワードを設定する必要があります。

8 ユーザー認証管理者名を入力し、[OK] を押す

例：kanrisha

9 ユーザー認証管理者パスワードを入力し、[OK] を押す

例：1234

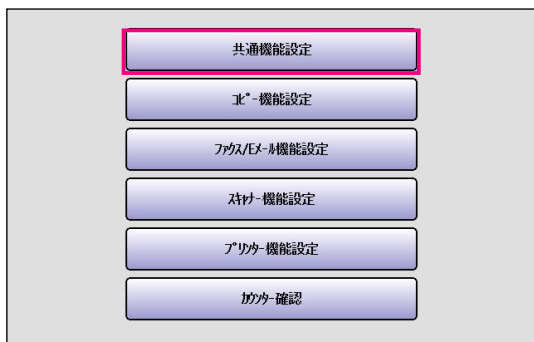
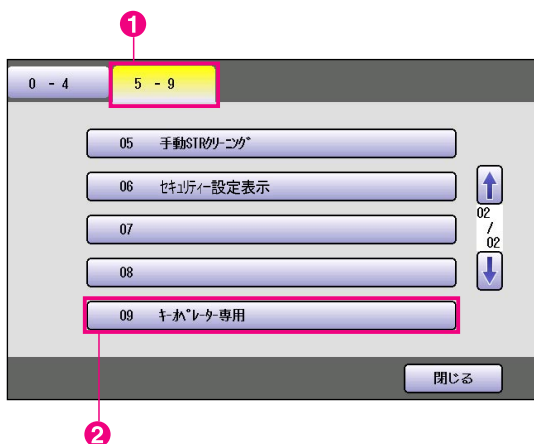
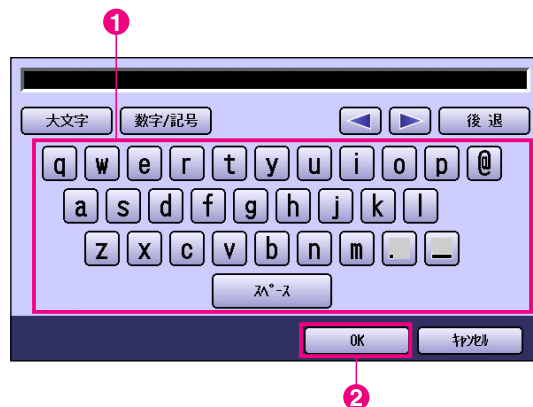
- ここで設定した管理者名とパスワードは、管理者のログインで必要になります。（p.20）
- 他の機能についても認証機能の設定を続けて行うときは、手順 6,7 を繰り返します。

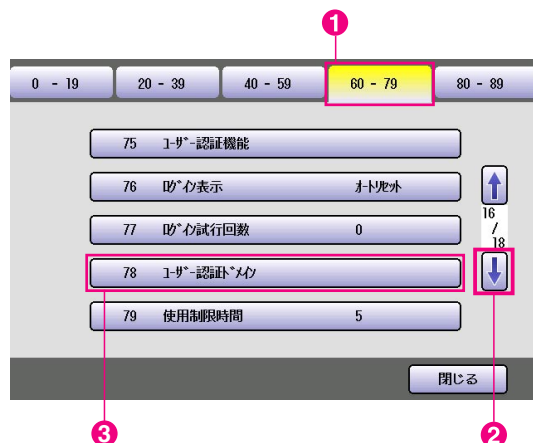
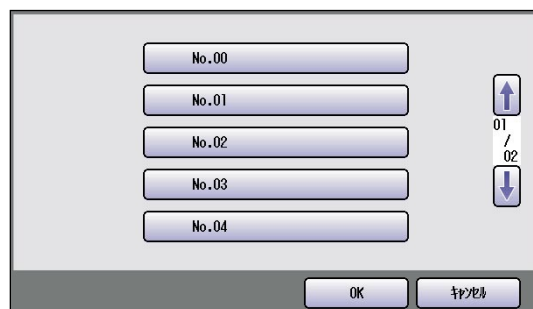
10 <リセット>を押し、認証機能設定を終了させる

ドメイン名の登録

ユーザー認証に使用する NT ドメイン名、DNS ドメイン名の登録を行います。

1 <ファンクション>を押す

2 [共通機能設定] を押す

3 [5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す

4 パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 [60-79] を押し、スクロールして [78 ユーザー認証ドメイン] を押す

6 ドメインを登録するナンバー（[No. 00] から [No. 09]）を選択する

ドメイン名は 10 個まで設定することができます。

7 NTドメイン名（NetBIOS名）を入力し、[OK]を押す（最大15文字）

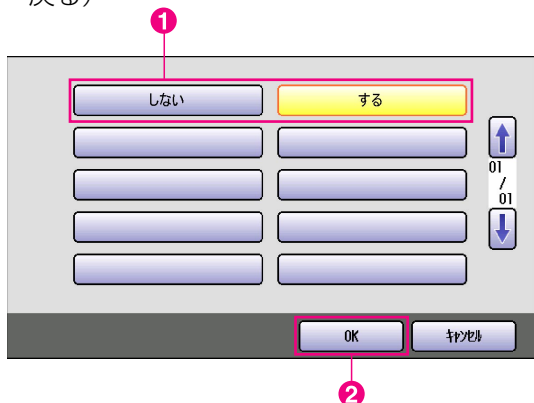
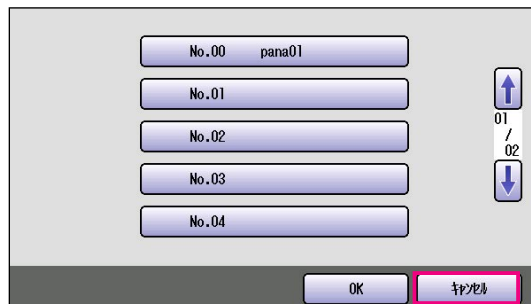
例：pana01

8 DNSドメイン名を入力し、[OK] を押す（最大60 文字）

例：panasonic.com

- Windows ネットワークが Windows NT Server 4.0 と Exchange 5.5 で構成されている場合は、手順 8 で Exchange サーバー名（FQDN）、または IP アドレスを登録してください。

9 SSLを選択し、[OK]を押す

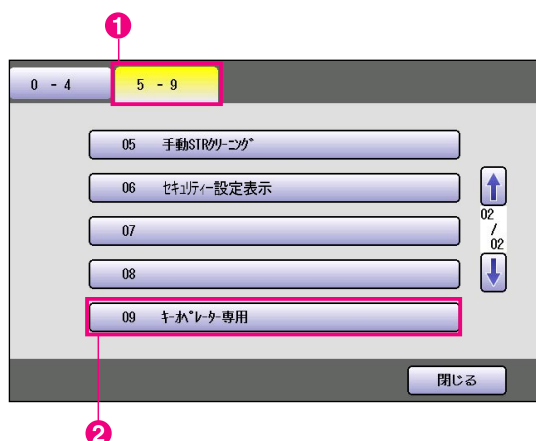
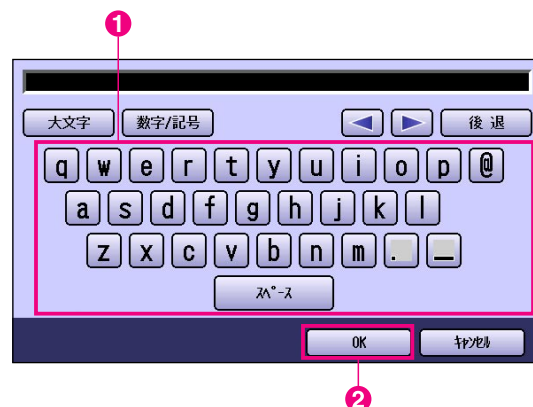
・さらにドメイン名を設定する場合は、続けてドメイン名を入力してください。（手順7へ戻る）

10 [キャンセル] を押すと、ドメイン選択画面に戻る

11 <リセット>を押し、ドメイン名の登録を終了させる

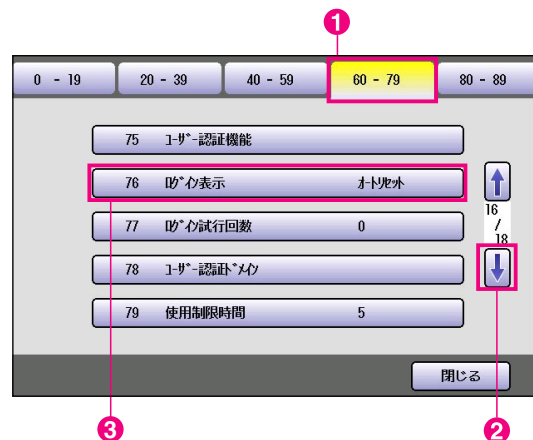
ログイン表示設定

認証完了後に認証を解除する方法や、その時間を設定します。ログイン表示設定で「オートリセット」を選択した場合、認証完了後に装置を操作せずに一定時間経過すると認証は解除されます。認証を解除する時間間隔は、「オートクリアタイム設定」（p.14）で設定します。

1 **<ファンクション>を押す**

2 **[共通機能設定] を押す**

3 **[5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す**

4 **パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す**

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 **[60-79] を押し、スクロールして [76 ログイン表示] を押す**

6 表示方法を選択し、[OK] を押す

オートリセット	一定時間装置を操作せずに放置すると認証が解除されます。
即時表示	装置の各動作が完了し、新たな動作を開始する際に認証が解除されます。

7 <リセット>を押し、ログイン表示設定を終了させる

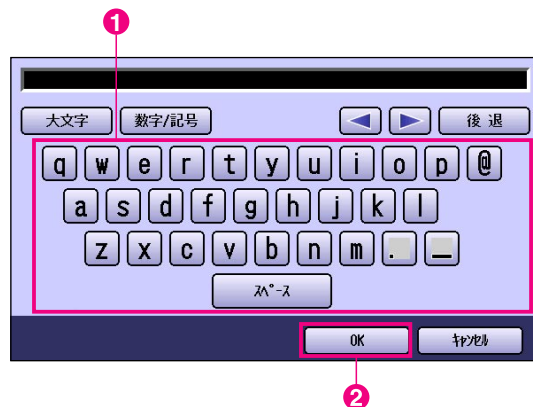
オートクリアタイム設定

ログイン表示で「オートリセット」を選択した場合の、認証を解除する時間間隔を設定します。

1 **<ファンクション>を押す**

2 **[共通機能設定] を押す**

3 **[5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す**

4 **パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す**

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 **[0-19] を押し、スクロールして [13 オートクリアタイム] を押す**

6 **認証をリセットする時間を選び、[OK] を押す**

・[なし] を選択した場合、経過時間にかかわらず認証はリセットされません。

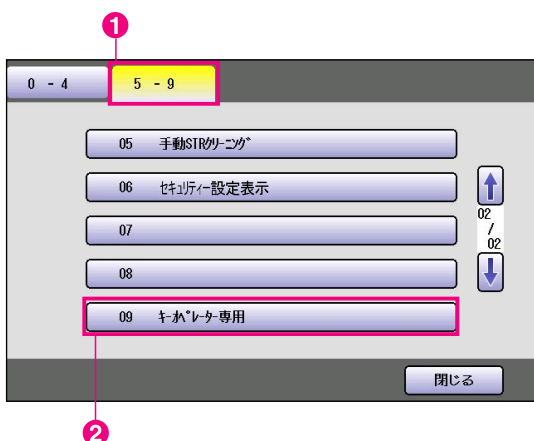
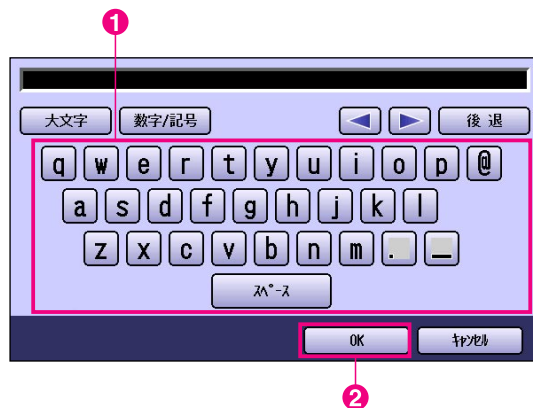
7 **<リセット>を押し、オートクリアタイム設定を終了させる**

ログイン試行回数設定

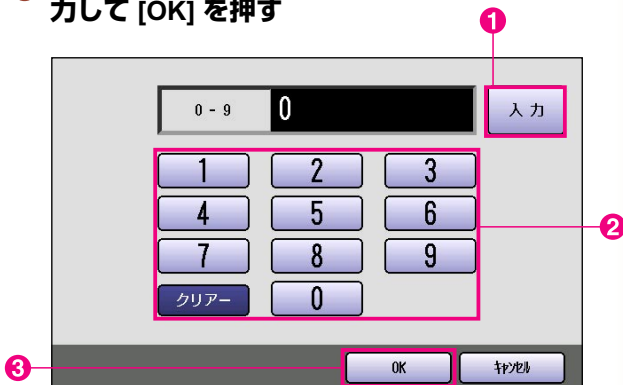
ユーザー認証時にログイン試行回数を超えると、システムはロックされます。システムをロックする試行回数を設定します。

1 <ファンクション>を押す

2 [共通機能設定] を押す

3 [5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す

4 パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 [60-79] を押し、スクロールして [77 ログイン試行回数] を押す

6 [入力] を押し、ログイン試行回数（0-9）を入力して [OK] を押す

・[0] の場合は、ログイン試行回数が無限に設定されます。

7 <リセット>を押し、ログイン試行回数設定を終了させる

使用制限時間設定

ユーザー認証時にログイン試行回数を超えると、システムはロックされます。システムをロックする時間(分)を設定します。システムがロックされた場合は、設定された時間が経過するまで、ログインできません。

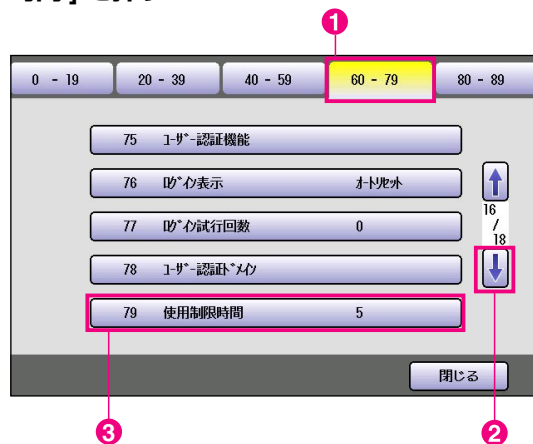
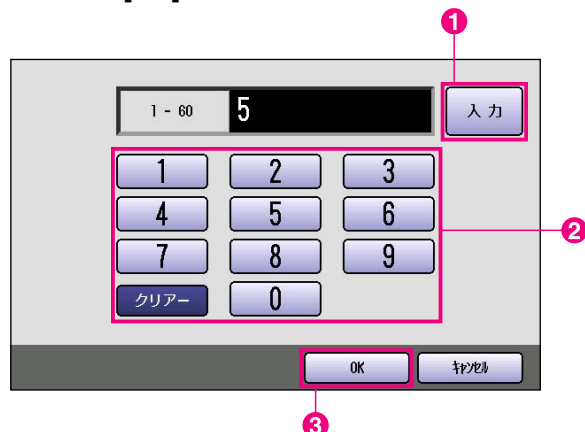
1 **<ファンクション>を押す**

2 **[共通機能設定] を押す**

3 **[5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す**

4 **パスワード(8 桁)を入力し、[OK] を押す**

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

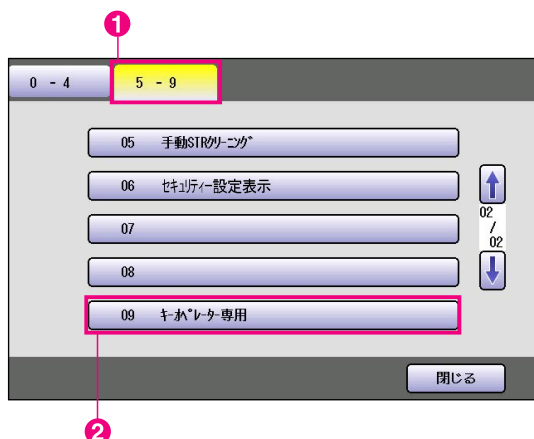
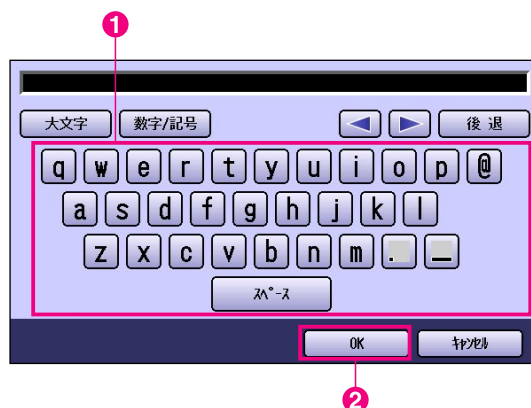
5 **[60-79] を押し、スクロールして [79 使用制限時間] を押す**

6 **[入力] を押し、使用制限時間(1 ～ 60 分)を入力して [OK] を押す**

7 **<リセット>を押し、使用制限時間設定を終了させる**

認証方式設定

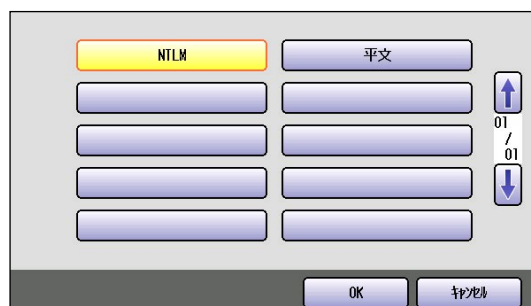
ユーザー認証機能で使用する認証方式を設定します。

1 <ファンクション>を押す

2 [共通機能設定] を押す

3 [5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す

4 パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 [60-79] を押し、スクロールして [74 認証方式] を押す

6 認証方式を選択して、[OK] を押す

NTLM	NTLM で認証します。
平文	平文（クリアーテキスト）で認証します。

7 <リセット>を押し、認証方式設定を終了させる

ジョブトラッキング機能設定

ジョブトラッキング機能の有効 / 無効を設定します。ジョブトラッキング機能を有効に設定した場合には、ログを記録する種類（モード）と送り先のメールアドレスを設定します。

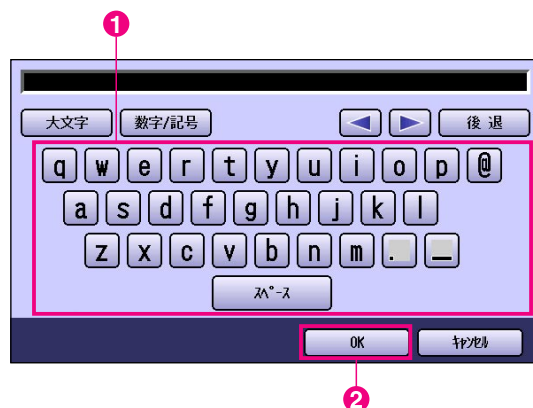
お知らせ

・この操作を行う前に、ログの送り先のメールアドレスは、あらかじめ電話帳に登録しておく必要があります。また、メモリー転送（システムの登録 * No.54、メモリー転送）を**なし**に設定してください。
　*:「システムの登録」への入り方は、以下の手順 1 ～ 5 を参照してください。
・**ファクス**または**スキャナー**機能 * が認証を行うように設定されている場合（p.8）、ジョブトラッキング機能が利用できます。
　*: スキャンデータの送信先を E メールアドレスで指定した場合のみジョブトラッキング機能が利用できます。

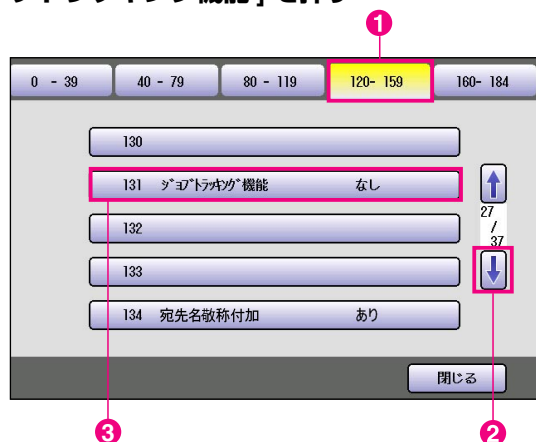
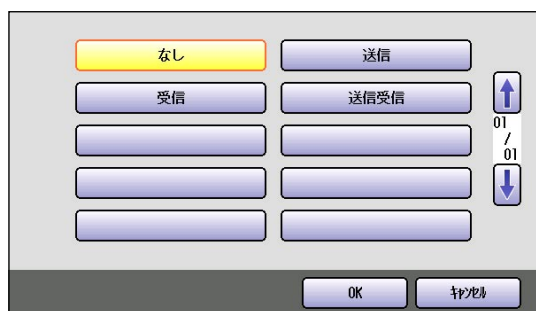
1 **<ファンクション>を押す**

2 **[ファクス / E メール機能設定] を押す**

3 **[04 キーオペレーター専用] を押す**

4 **パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す**

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 **[01 システムの登録] を押す**

6 [120-159] を押し、スクロールして [131 ジョブトラッキング機能] を押す

7 ログを記録する種類を選び、[OK] を押す

なし	ジョブトラッキング機能を停止します。
送信	送信のみを記録します。
受信	受信のみを記録します。
送信受信	送信と受信を記録します。

- [なし] 以外を選択した場合、システムの登録 No.54（メモリー転送）は表示されません。（p.18 " お知らせ " に従ってメモリー転送（システムの登録 No.54、メモリー転送）が**なし**になっていることを事前に確認してださい。）
- [送信] または、[送信受信] を選択した場合は、ファクス送信モードにてダイレクト送信を選択した場合でもいったんメモリーに蓄積された後、送信されます。

8 ログを送信するシステム管理者の E メールアドレスを選び、[OK] を押す

9 装置が受信した文書のプリント動作を選択し、[OK] を押す

- 手順 7 で [受信] または [送信受信] を選択した場合のみ、この画面が表示されます。

設定	受信した文書の処理
異常時	手順 8 で指定した送り先にログが送信できなかったときにプリントアウトします。
常時	常にプリントアウトします。

10 <リセット>を押し、ジョブトラッキング機能設定を終了させる

お知らせ

- ログの送付先に本機の POP メールアドレスを設定するときは、本機の POP 受信関連パラメーターを次のようには**設定しないでください。**

  POP 自動受信（システムの登録 No.147）: なし
  POP 時間間隔（システムの登録 No.146）: 0 分

- 次の状態の時にはジョブトラッキング機能は働きません。

  ローカルドメインログイン時
  通信の宛先自体がシステム管理者の E メールアドレスの場合
  ポーリング通信時

管理者権限によるログイン

お使いのネットワークに障害が発生した際など、ネットワークにログインできない場合でも、「認証機能設定」(p.8) で設定したユーザー認証管理者名とユーザー認証管理者パスワードを使用して装置のローカルドメインにログインできます。システム管理者は装置にログイン後、本機の各機能（コピー、ファクス、スキャナー、プリンター）を使用することが出来ます。

1 **ユーザー認証機能が設定されている場合は、ログイン画面が表示される**

2 **[ユーザー ID] を選択し、管理者名 を入力し、[OK] を押す**

例：kanrisha

3 **[パスワード] を選択し、管理者パスワードを入力し、[OK] を押す**

4 **[ドメイン] を選択し、[10 ローカル] を選び、[OK] を押す**

5 **[OK] を押すと、認証が開始される**

6 **認証が完了する**

お知らせ

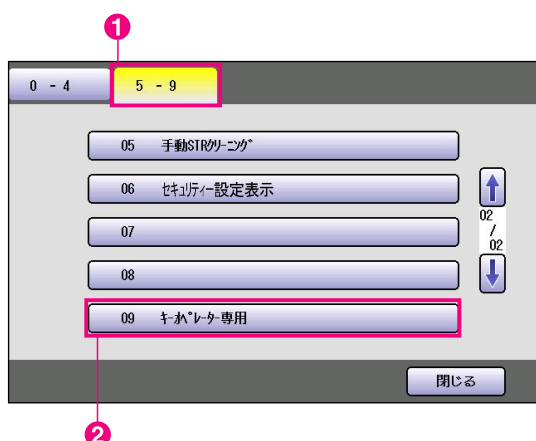
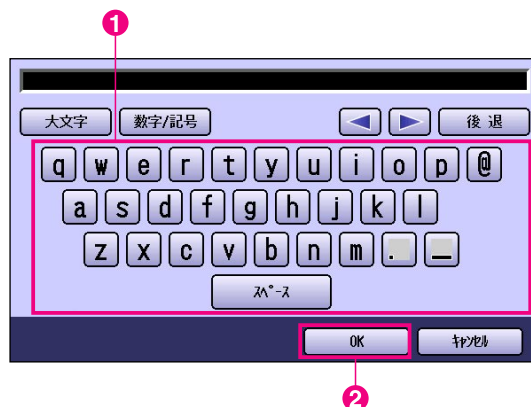
管理者名 と管理者パスワードの設定については認証機能設定（p.8）を参照してください。

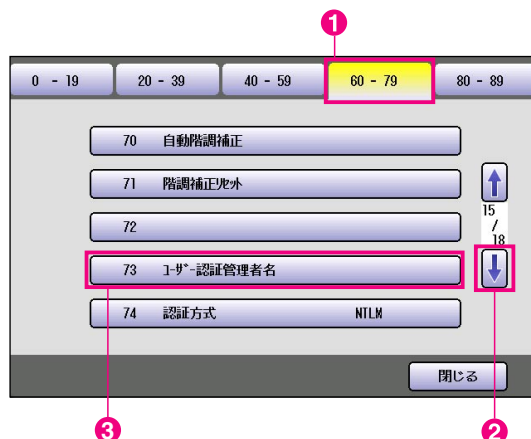
管理者名とパスワードの変更

ユーザー認証管理者名、パスワードは、ユーザー認証を初めて有効にしたときに「認証機能設定」(p.8)で設定します。設定したユーザー認証管理者名、パスワードを変更する場合には、次のように操作します。

1 **<ファンクション>を押す**

2 **[共通機能設定] を押す**

3 **[5-9] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す**

4 **パスワード(8 桁)を入力し、[OK] を押す**

・初期設定のパスワードは「00000000」です。

5 **[60-79] を押し、スクロールして [73 ユーザー認証管理者名] を押す**

6 **ユーザー名(最大 40 文字)を入力し、[OK] を押す**

・大文字と小文字は区別されません。

・入力されている文字を削除するには [後退] を押します。

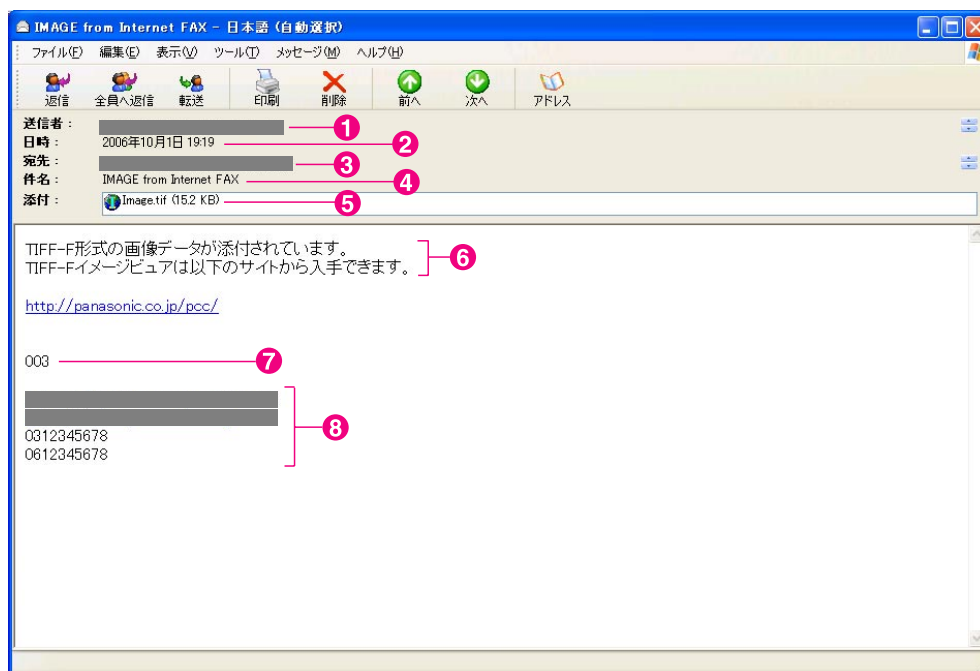
例:administrator

7 **パスワード（最大 40 文字）を入力し、[OK] を押す**

- 大文字と小文字は区別されます。
- 入力されている文字を削除するには [後退] を押します。

例：1111

8 **操作が終了したら、<リセット>を押すと、待機画面に戻ります。**

ジョブ通知の表記

※上の画面は、Microsoft® Windows® operating system 日本語版で動作する電子メールソフトウェア Microsoft® Outlook® の画面です。他の E メール用アプリケーションソフトウェアをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェア付属の説明書を参照してください。

	一般電話回線によるファクス送信インターネット FAX、あるいは PC に対しての E メール送信	一般電話回線による受信	インターネット FAX、あるいは PC からの受信
1.	送信者名またはログイン名 ※ローカルドメインにログインした場合またはサーバーログインした場合は、装置の E メールアドレスになります ※ NT サーバにログインした場合は、装置のアドレスになります。	Fax: 相手機の数字 ID、（相手機の数字 ID が未登録のため ID が特定できない場合は、Sender's ID Unknown と表示されます）	FWD: 送信者の E メールアドレス
2.	ログメールの送信日時		
3.	受信者 E メールアドレス（設定についてはジョブトラッキング機能設定（p.18）を参照してください）		
4.	件名または装置のデフォルトサブジェクト ※もし件名もデフォルトサブジェクトも設定されていない場合には IMAGE from Internet FAX となります。	装置のデフォルトサブジェクト もしデフォルトサブジェクトが定義されていない場合、IMAGE from Internet FAX となります。	
5.	送信文書 ※メール本文は画像として添付ファイルに含まれます。	受信文書	受信文書 ※メール本文は画像として添付ファイルに含まれます。
6.	定型文		
7.	送信局数	-	
8.	送信先	-	